

令和 6 年度

学 生 募 集 要 項

〈 総 合 型 選 抜 〉

薬学部薬学科
「地域枠」

富 山 大 学
UNIVERSITY OF TOYAMA

この学生募集要項は、薬学部薬学科総合型選抜「地域枠」用です。
薬学部薬学科総合型選抜「研究者養成枠」又は薬学部学校推薦型選抜により志願する場合は、別途公表の学生募集要項を入手し、出願してください。

不測の事態により、試験時間等本学生募集要項の内容を変更する必要がある場合は、本学ウェブサイトでお知らせいたしますので、最新の情報を必ず確認してください。

富山大学ウェブサイト <https://www.u-toyama.ac.jp>

目 次

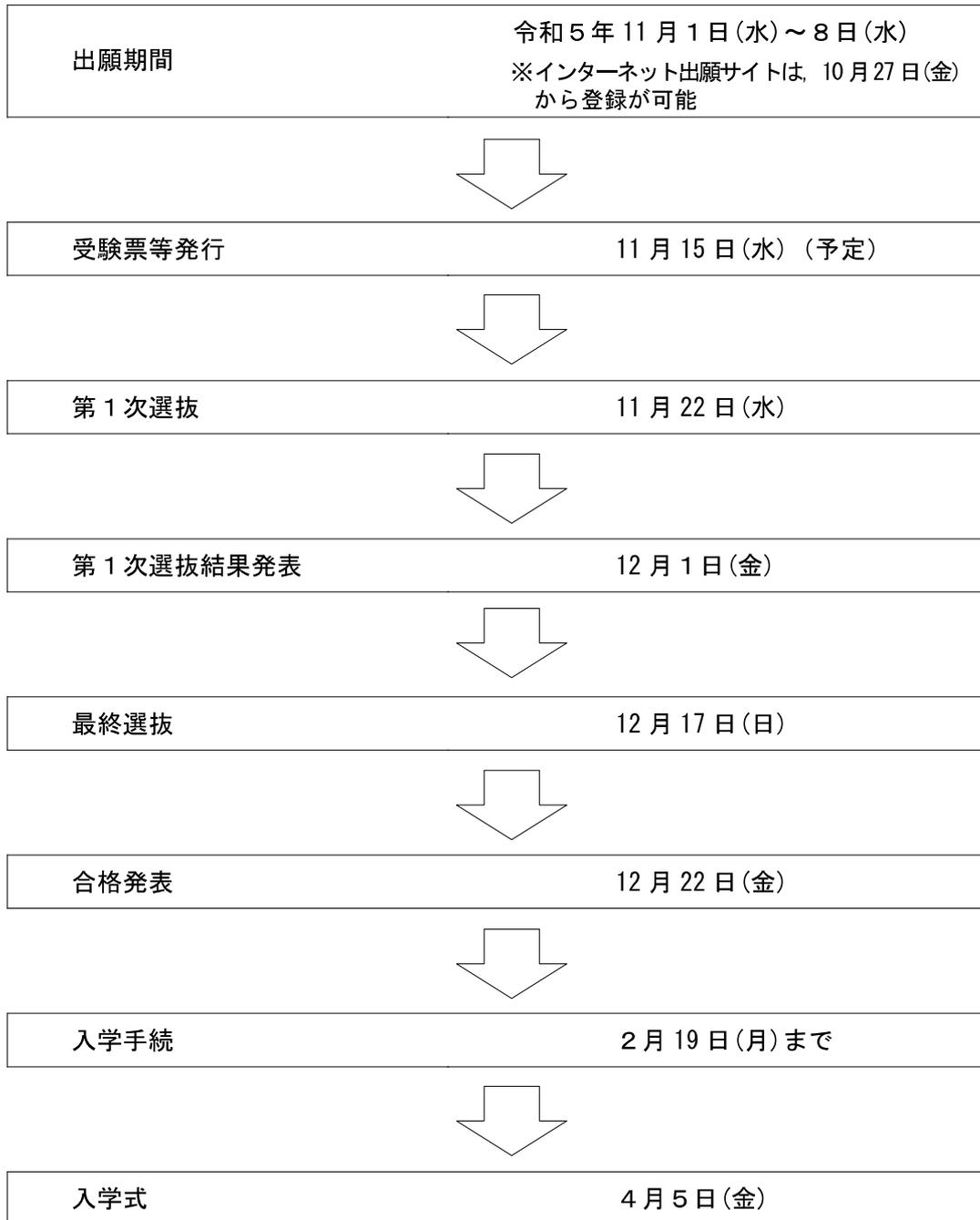
富山大学入学者選抜日程の概要（薬学部薬学科総合型選抜「地域枠」）	1
1 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	2
2 学生募集の趣旨	3
3 募集人員	3
4 出願資格及び出願要件	3
5 出願方法及び出願期間	4
6 出願手続	5
7 選抜方法及び選抜期日等	12
8 合格者発表及び選抜結果通知	13
9 出願上の注意事項	14
10 安全保障輸出管理について	14
11 障害等のある入学志願者の事前相談	15
12 受験票及び受験上の注意事項の印刷	16
13 試験当日の注意事項	16
14 入学手続	18
15 本選抜の入学辞退	18
16 一般選抜への出願	18
17 志願者等の個人情報の取扱い	18
18 入試情報開示	19
○試験場案内図	20
○入試情報ウェブサイト	21
○「入試過去問題活用宣言」への参加について	21
添付書類	
入学志願票（総合型選抜）＜見本＞	24
宛名シート＜見本＞	25
出願書類確認表（チェックリスト）（出願書類ではありません）	26
自己推薦書	27
確約書	29
検定料返還請求書（出願書類ではありません）	31

【お知らせ】

- ・ 本学への出願にはインターネットによる出願登録及び書類の郵送が必要となります。インターネット出願の流れは5ページを参照してください。なお、冊子体の学生募集要項（入学志願票等を含む）は配付していません。
- ・ 令和7年度以降の入学者選抜方法の変更（予告）内容については、本学ウェブサイトの入試情報ページを確認してください。なお、今後も必要に応じてウェブサイトの更新を行います。

富山大学入学者選抜日程の概要

薬学部薬学科総合型選抜「地域枠」



1 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

富山大学 入学者受入れの方針

富山大学は、本学が掲げる教育理念、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、人文科学、社会科学、自然科学、生命科学、保健医療及び芸術文化の各分野に高い関心を持ち、幅広く豊かな教養と専門的な知識や技術を活かして、地域と国際社会に貢献しようとする高い志を持つ者を受け入れる。

そのため入学者選抜の基本方針として、複数の受験機会や多様な学生を評価できる入試を提供する。

薬学部薬学科 入学者受入れの方針

【求める学生像】

薬の理解と薬学研究を通じて、人類の健康、福祉、衛生及び健全な社会環境の保全に貢献できる人材を育成するに当たり、薬学科では、次の人材を求める。

- ・ 薬剤師としての高度な学識と職能を得たい人
- ・ 医薬品の研究や臨床開発に携わることで人類と社会に貢献したい人
- ・ 東西医薬学の融合による統合医療の実践を目指す人
- ・ 医療や保健衛生の分野で社会に貢献したい人

【入学者選抜の基本方針（入試種別とその評価方法）】

■総合型選抜Ⅰ

本学では、第1次選抜として、「書類審査（自己推薦書，調査書）」及び「小論文・適性検査」を課して、学習到達度，自己分析力，積極性，基礎学力，適性等を評価する。第1次選抜合格者に対して、「面接」及び「プレゼンテーション」を課し，志望動機，薬学を学ぶ目的意識，探究心，論理的思考力，判断力，表現力，主体性，多様性，協働性，協調性に加え，地域への貢献意欲を総合的に評価する。

【入学者選抜方法における重点評価項目一覧】

（「○」は重点的に評価する要素）

入試区分	選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
総合型選抜Ⅰ	書類審査（自己推薦書，調査書）	○	○	○
	小論文・適性検査	○	○	
	面接		○	○
	プレゼンテーション	○	○	○

【入学前に学習すべきこと】

薬学は、広範で多様な学問分野から成っているため、入学までに、化学，物理，生物，数学，語学の基礎学力を付けておくことが望ましい。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）のほか、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）及び卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）については、本学ウェブサイトをご覧ください。

（本学トップページ） → 「大学紹介」 → 「三つのポリシー」 → 「学士課程の三つのポリシー」

2 学生募集の趣旨

富山県内における薬剤師供給不足解消に貢献するため、県内の持続的な薬剤師供給体制を構築し、地域医療の質の向上、産業の興隆に資することを目的に、薬学科において、新たに富山県内の高等学校出身者等を対象とした「総合型選抜Ⅰ（地域枠）」を実施します。

3 募集人員

「地域枠」10人

（注）選抜の結果、募集人員に欠員が生じた場合は、その欠員は一般選抜（前期日程）の募集人員に加えます。

4 出願資格及び出願要件

次の(1)、(2)のいずれかに該当し、かつ、出願要件をすべて満たす者

- (1) 富山県内の高等学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が指定した専修学校高等課程又は高等専門学校第3学年を令和6年3月31日までに卒業（修了）見込みの者又は卒業（修了）後1年以内の者
- (2) 出願時に富山県在住で、令和4年4月以降に高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者

出願要件

- ① 薬剤師の資格を取得後、薬剤師として富山県内の地域医療や製薬産業に貢献するという強い意志を有する者
- ② 合格した場合に入学が確約できる者

富山県では、本選抜の合格者に対し、修学資金を貸与する制度（※1）を設けています。本選抜を出願する者については、本制度の活用を前提として、薬剤師免許取得後、富山県内での地域医療や製薬産業に貢献することを確約いただきます。

【富山県地域薬剤師確保修学資金貸与制度（※1）の概要】

富山県では、総合型選抜「地域枠」の入学者全員を対象として、薬剤師免許取得後、一定期間、富山県内の公的病院や製薬企業等で勤務し、地域医療や医薬品産業に貢献することを条件とする修学資金貸与制度を設けています。

※1 総合型選抜「地域枠」に合格して入学した者は、全員が地域創生コースに属した上で、富山県地域薬剤師確保修学資金の貸与を受けなければなりません。

(1) 貸与額

入学料相当額 富山大学の入学料に相当する額
授業料相当額 富山大学の授業料に相当する額
修学費 月額 5万円

(2) 返還免除要件

富山大学を卒業後に薬剤師となり、①地域医療コース、②製薬企業コース又は③行政機関コースで、9年間（修学資金貸与期間の1.5倍）勤務した場合、返還を免除します。（返還免除の条件を満たさない場合は、貸与を受けた額を返還していただきます。）

（次ページに続く）

(前ページから続く)

①地域医療コース

9年間で、規模や機能などの異なる公的病院を3か所程度ローテーションするプログラムが設定されるので、当該プログラムに基づき、富山県知事が対象者ごとに指定する県内の公的病院において、薬剤師として9年間勤務した場合に、貸与された修学資金の返還を免除するコースです。

②製薬企業コース

9年間以上、同一の製薬企業で勤務した場合に、返還を免除するコースです。

対象となる製薬企業は、地域枠生が5年生となる4月を目途に決定します。県内の製薬企業（本社又は主要な工場が県内にあるもの）から募集し、地域枠生を採用し9年間雇用した場合に、修学資金の返還の負担に同意した企業が対象となります。

なお、返還免除に要する費用は、地域枠生を採用した企業が1/2の負担、県が残りの1/2を負担することとしています。

【注意事項】

対象企業の代表者又は取締役の3親等以内の親族であり、同企業の跡継ぎを目的として就職する場合等、同企業への就職の必然性が相当程度高いと認められる場合は、返還免除の対象とはなりません。

③行政コース

9年間以上、富山県職員として、本庁、厚生センター、県研究所等で勤務した場合に返還を免除するコースです。

(3) その他

- ① 修学資金貸与申請には、連帯保証人（予定）を2人（1名は貸与を受けようとする者の親族（父母等）、もう1名は家計を別にする成年者であって、修学資金を返還できる資力を有する者。いずれか1名は県内出身者が含まれることが望ましい。）を立てなければなりません。
- ② 修学資金貸与制度については、富山県のウェブサイトに記載しますので、確認してください。

(4) 問い合わせ先

富山県厚生部薬事指導課 電話 (076) 444-3233 (直通)

5 出願方法及び出願期間

出願はインターネット出願のみとします。出願手続は、インターネット出願サイトでの出願登録及び検定料の支払いを行った後、次の出願期間内に必要な書類等を書留速達郵便で郵送することにより完了します。5ページ以降の出願手続を参照し、手続きを行ってください。

出願期間

令和5年11月1日(水)～8日(水) 17時まで**に必着**のこと。

インターネット出願の登録と検定料の納入は、10月27日(金)9時から可能です。

出願に必要な書類(10～11ページ)は出願期間内に必着するように**書留速達郵便**で郵送してください。持参による出願は認めません。郵便事情を考慮して余裕をもって郵送してください。

出願期間後に到着したものは受理しないので注意してください。

ただし、**11月7日(火)以前の消印**(日本国内の郵便の消印に限る。)のある**書留速達郵便**に限り、出願期間以降に到着した場合でも受理します。

なお、書留速達郵便で送付した出願封筒について、本学への到着(配達)の有無の問い合わせには応じません。日本郵便ウェブサイトの「郵便追跡サービス」により、志願者本人が確認してください。

7 選抜方法及び選抜期日等

(1) 選抜方法

第1次選抜

書類審査（自己推薦書，調査書）及び「小論文・適性検査」の結果を総合的に評価し，第1次選抜合格者を決定します。

「小論文・適性検査」は，英語，数学^(注)，化学，物理における基礎学力を問う内容を含みます。

(注) 数学の出題範囲は数学Ⅲを含む。

最終選抜

第1次選抜合格者に対し，面接及びプレゼンテーション（質疑応答含む）を課し，第1次選抜の評価とともに総合的に評価します。ただし，面接又はプレゼンテーションにおいて評価が「不可」の場合は，合格の対象としません。

○実施内容

・面接

志望動機，薬学を学ぶ目的意識や学習意欲，地域への貢献意欲等を評価するために，1人10分程度の個人面接を行います。

・プレゼンテーション

第1次選抜合格通知でお知らせした課題について，説明用ポスターを作成してください。作成したポスターを使って1人5分以内で説明を行ってください。ポスターは，プロジェクターで投影し，評価者（教員）には印刷版を配付します。なお，プレゼンテーションは，個人ごとに評価者の前で実施します。

※評価者には富山県の担当者を含みます。

<ポスター作成の留意事項>

- ・ポスターはA4横，1ページ（カラー可）としてください。
- ・作成したポスターは電子ファイル（PDFファイル）で，指定したメールアドレスに12月14日（木）17時までに送付してください。メールアドレスは，課題とあわせて通知します。
- ・ポスターには，受験番号，氏名を明記し，文章や図表，写真などを用いて，分かり易いポスターの作成につとめてください。
- ・文献やインターネットなどから情報を引用する場合は，出典をポスターに明記してください。

【第1次選抜及び最終選抜の配点】

区分	書類審査	小論文・適性検査	面接	プレゼンテーション	合計
第1次選抜	25点	50点			75点
最終選抜	25点	50点	100点	50点	225点

最終選抜における書類審査及び小論文・適性検査は第1次選抜の結果を得点とする。

(2) 選抜の日程及び試験場

受験者は、下記の受付時間までに試験場に集合してください。

以下の時間は予定です。受験者数によって終了時刻は変更になる場合があります。

【第1次選抜】

選抜期日	選抜内容等	時 間	試験場
令和5年 11月22日(水)	受付	8:30 ~ 9:00	富山大学杉谷キャンパス (富山市杉谷2630)
	小論文・適性検査	9:30 ~ 11:30 (120分間)	

【最終選抜】

選抜期日	選抜内容等	時 間	試験場
令和5年 12月17日(日)	受付	8:00 ~ 8:30 (午前) 12:30 ~ 13:00 (午後)	富山大学杉谷キャンパス (富山市杉谷2630)
	面接, プレゼンテーション	9:00 ~ 12:00 (午前) 13:30 ~ 16:00 (午後)	

最終選抜は午前の部と午後の部に分けて実施します。第1次選抜合格者に集合時間を通知します。

なお、受験者数によって上記の時刻を変更する場合があります。

8 合格者発表及び選抜結果通知

第1次選抜結果発表

日時 令和5年12月1日(金) 10時

最終合格者発表

日時 令和5年12月22日(金) 10時

受験者全員に合否の結果を郵送により通知します。また、合格者の受験番号を本学のウェブサイト（本学トップページから入試情報をクリックすると閲覧できます。）に掲載します。

なお、合否についての電話その他による問い合わせには一切応じません。

・本選抜の合格者に入学前の特別教育プログラムとして、物理、化学、生物の課題学習及び「くすりの富山」に関する自主体験学習を課します。（課題及び体験学習については合格発表後に案内します。）

・本選抜の入学者は、入学後に地域創生コースに属します。本コースでは、富山県及び関係団体等の協力のもと、富山県内病院・行政等の見学ローテーション、富山県内製薬企業へのインターンシップなど、地域が必要としている医療人として活躍する薬剤師を志す学生をフォローアップするための「地域創生型カリキュラム」が用意されています。